

運動部活動の地域移行に関する検討会議における検討事項（案）

1. 運動部活動改革の目的・目標

- 運動部活動の改革は、学校の働き方改革への対応とともに、中学生をはじめとする青少年にとってふさわしいスポーツ環境を実現するためのものである。運動部活動に所属していない生徒も含め、中学生にとってふさわしいスポーツ環境はどのようなものが考えられるか。
- 運動部活動を地域に移行することにより、地域スポーツの振興の観点から、どのような効果が期待できるか。

2. 地域移行する前の運動部活動の在り方

- 現在の運動部活動の様々な課題に対処するとともに、着実な地域移行に向けて、地域移行前の段階から運動部活動を改善していく必要があるが、活動内容や活動時間等について、どのように改善すべきか。
- 学校の働き方改革に対応するとともに、適切な指導体制を整えるため、教師が運動部活動の指導や大会等の引率をするという現行の在り方を抜本的に改めていく必要があるが、運動部活動の指導や大会等の引率の体制はどのようにしていくべきか。特に部活動の指導を望まない教師が部活動に従事する必要のない体制をどのように整備していくか。

3. 地域への移行の在り方

- 地域や学校によって状況が異なる中、着実に運動部活動の地域移行を進めるためには、どのような方策が考えられるか。
- 中学生をはじめとする青少年にとってふさわしいスポーツ環境の実現のため、地域スポーツ活動の参加者、活動内容・種目、活動時間等はどうかあるべきか。
- 地域移行の達成時期について、いつを目標とすることが適切か。

4. 運動部活動の地域での受け皿

- 運動部活動を地域に移行する際の受け皿として、都市部と地方部では状況が異なることや生徒のニーズが多様であること等も踏まえ、どのような組織・団体等が考えられるか。
- 受け皿となる組織・団体等を整備、拡充し、またそれらの組織・団体等が安定的、継続的に運営できるようにするためには、どのようなことが考えられるか。
- 地域移行する際や、移行後において、各市町村の地域スポーツ担当部局や受け皿となる組織・団体、学校等が緊密に連携していくためには、どのような方策が考えられるか。
- 受け皿となる組織・団体等への財政支援の在り方は、どのようなものが考えられるか。

5. 指導者

- 指導者として、どのような人材が考えられるか。
- それらの指導者をどのように確保、育成していくか。
- 指導者には、種目に関する専門的な知識や教育者としてふさわしい資質が必要となるが、指導者の質をどのように保証していくか。
- 指導者資格や審判資格を有するなど専門的な知識や経験があり指導を希望する現職の教師が兼職兼業の許可を得て円滑に地域でスポーツ活動を指導できるようにするためにどうすべきか。また、その際に所属校での教師としての本来業務へ影響が生じないようにし、また心身に過重な負担とならないようにするため、どのようなことに留意すべきか。

6. 施設

- 地域スポーツ活動を実施する場をどのように確保していくか。
- 施設を円滑に使用するため、行政や各組織・団体、学校等の間においてどのような調整・連携の在り方が考えられるか。
- 運動部活動の地域移行を進めるとともに、地域のスポーツ環境を改善するため、学校体育施設の有効活用の在り方として、どのようなことが考えられるか。

7. 大会

- 地域スポーツ活動参加者の成果発表の場及び実力を競い合う場として、主催者や規模、参加資格、試合形式等について、どのような在り方がふさわしいか。
- 持続可能な大会開催のため、運営スタッフをどのように確保していくか。
- 既存の全国大会について、どのような在り方がふさわしいか。

8. 会費

- 適正な額の会費を保障するため、どのような方策が考えられるか。
- 経済的に困窮する家庭の生徒への支援として、どのような方策が考えられるか。

9. 保険

- 地域スポーツ活動に安心して参加できるよう、指導者や参加者が加入する保険として、補償内容や保険料等について、どのようなものがふさわしいか。
- 指導者や参加者に保険の加入を義務付けるべきか。

10. 関連諸制度等の見直し

- 運動部活動の地域移行に向けて、学習指導要領における部活動に係る規定や入学試験、教員採用における位置づけ等について、どのように見直すべきか。